

近世⑤「江戸時代後期」

化政文化・天保の改革 A

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ 1792年にロシアの使節が来航し、い その後も外国船の来航が続いた。1830年代には天保のききんで多くの被害が発生した。1837年に、苦しむ人々を救おうとして、大塩の乱がおこった。老中の（う）は、社会を安定させるために幕府を立て直す必要があると考えて、え 天保の改革を行った。

幕府は朱子学をすすめていたが、このころにはお 蘭学など新しい学問が発達した。文化・文政年間を中心にか 化政文化が栄え、き 町人や百姓のための教育機関も開かれた。

(1) 下線あについて述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1792年にロシアの使節が来航した場所は函館である。
- イ ロシアの使節は、台風でそうなんした大黒屋光太夫を日本に送り届けた。
- ウ 1792年に日本に来航したロシアの使節はラクスマンである。
- エ ロシアの使節は、日本に通商を求めたが幕府は応じなかった。

[1]

(2) 下線いに対して、幕府が1825年に出した法令はどのようなことを定めたか、簡単に答えなさい。

[2]

(3) （う）にあてはまる人物の名を答えなさい。

[3]

(4) 下線えの内容として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 広く意見を集めるために目安箱を設置した。
- イ 幕府の正式な学校として昌平坂学問所を置いた。
- ウ 商工業者が株仲間を結ぶことを奨励した。
- エ 高級な菓子や着物、寄席、歌舞伎などを制限した。

[4]

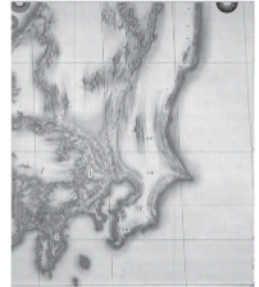
次ページにつづく▶▶▶

(5) 下線おについて、次の問いに答えなさい。

- ① 日本の古典を研究して日本古来の考え方を追究する学問を何というか。

 [5]

- ② 全国を測量して、右に示した地図をつくった人物の名を答えなさい。

 [6]

(6) 下線かについて、次の問いに答えなさい。

- ① この文化について述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 上品で優美な文化が栄えた。
- イ 簡素で落ち着きのある文化が栄えた。
- ウ 皮肉やしゃれを好む文化が栄えた。
- エ 明るく華やかな文化が栄えた。

 [7]

- ② 右の図は「ポッピンを吹く女」を表している。この作品をはじめ、美人画を多く残した浮世絵画家の名を答えなさい。

 [8]

(7) 下線きについて、寺子屋では、どのようなことが教えられていたか、具体的に答えなさい。

 [9]